



しいなひろみ

20年の福祉現場の経験を区政に活かし
提言実行。親子4代地元です。



楽しいな通信



本会議
(録画)



出前しいな ケース4

～男性の介護 その1～

「出前しいな」とは・・・
区民の皆様の代表者として区民の意見を政治に反映させる責務があり、日頃から多くのご相談を直接傾聴している活動です。



介護と仕事を両立している息子様

2020年のコロナ感染が蔓延し始めたころ、母の状態が下がってきました。酸素飽和度も90レベル、酸素流量も3.5リットル、血圧も収縮期が70と在宅チームを支えてくれた医療介護関係者の方々や身内からも「あきらめ感」が漂ってきました。「覚悟を決めてください」と助言もあり葬儀の準備への行動も始めざる得ない状況でした。

当時は、昼間は仕事へ出かけ夜は急変時に備え、折り畳みベッドで母の横で就眠するという精神的にも肉体的にも疲労が蓄積される状態でした。「辛い」と認めてしまったら母に対して申し訳ない、現状を受け入れなければいけない現実とこのままあきらめたくないという相反する気持ちの葛藤がありました。特に体は疲労し思考は覚醒するアンバランス感は何とも言えない辛い状態でした。「元気になってこっち（リビング）でご飯食べたいよね」と聞くと大きく「うん」とうなずいてくれました。

延命を望むか往診医を利用するときに最初に聞かれた時はよくわからないままでした。「絶対に復活させたい」「生き続けてほしい」やはりその状況になると延命を望みました。家族だからこそ可能性があればそれに賭けようと強く思いました。何十年と家族として生きてきた日々があるからこそ、母の生きる力を信じたかった。一方でこの気持ちを理解してもらうための労力に辟易し孤独感や孤立感を強く感じた時期でした。振り返るとこの「孤独感」が一番きつかったと思います。誰かに話を聞いてもらいたくても行政の電話相談は夕方には終わってしまいます。

水分と栄養の点滴を強く望み、処方されるエンシエアだけでなく苺をつぶしたり、リンゴをすりおろしたりバナナをジュースにしたりと誤嚥や姿勢に気をつけながら試行錯誤の日々が続きました。母も私の介護に応えるように徐々に全身状態が上向きになっていきました。



ご家族で大切にしている梅の花今年も咲きました

大切にしていること

「頑張りすぎない」私自身の年齢を考えると無理が効かなくなりました。特に介護生活は終わりが見えません。仕事も、どちらも「余力」を残すことが大切だと思います。

しいなのつぶやき

介護と仕事の両立のコツ

職場では仕事に集中する。日中は母の介護はプロに任せる割り切りも必要です。

おんな手ひとつで会社を営み、笑顔で留学先へ送り出してくれた思い出やお母様の深い愛情をしっかりと受け止めていた息子様。要介護5で一日3回の訪問介護や往診医、そして訪問看護や訪問入浴とサービスをフルに使い在宅介護を継続していらっしゃいます。ひとつ一つ言葉を選びながら取材に応じて下さった息子様。ズボンのポケットから出したハンカチが綺麗に畳まれていたのが印象的でした。自然体の息子様と笑顔が素敵なお母様でした。

提言
実現

令和4年度
スタート

24時間365日

「おとしよりなんでも相談」の実施！
連絡先0120-925-610

予算

8,140,000円

後期高齢者医療検診で血清アルブミン血液検査を基本検査項目として追加！

予算

検査@100円×36,660人分×1.1
4,032,600円



第33回 おいしいな「福まね嬉 だれでも食堂！」 2/12(土)



福まね嬉だれでも食堂開催です！コロナの影響でテイクアウト中心です。お子さまたちや親御さん、お一人暮らしの高齢者の方々へ、計122食・全33回の累計で2489食を提供させて頂く事が出来ました。今回もボランティアさん7名が準備から片付けまで手際よく行ってくださいました。地域の皆様を始め、沢山の方々のおかげで無事に開催することができました。本当にいつもありがとうございます！！



※開催日についてはお気軽にお問い合わせください。→ 080-5187-7224 まで